



え・小島サエキチ

消極的か 積極的か？

塗

装会社に勤務するNさん。

現在は第一線で活躍していますが、入社一年目の時に、岐路に立たされました。

入社当初は「お客様の笑顔のために精一杯働こう」と希望に燃えていましたが、半年も経つと、不満が出てきたのです。

先輩と一緒に現場に出ても、塗装前の下地処理しかさせてもらえません。事務所内でも塗料の発注くらいしか役目が与えられず、毎日地味な作業ばかりでした。

頑張っても報われない日が続き、次第に情熱も薄らいできました。一年が経つ頃には、「自分はこの会社に向いていないのではないか」〈転職したほうが良いのではないか〉と、悩むようになりました。そんな時、塗料の発注ミスをしてしまったのです。

Nさんが頼むはずだったのは特殊な塗料でした。結局、納期に間に合わず、工事は延期になってしまいました。

上司と共に関係各所にお詫びをしながら、ふとNさんが上司から

言われたのが次の言葉です。

「塗装工事で一番大切なのは下地処理なんだ。目に見えなくても、下地処理が適切にされていないと綺麗に仕上がらない。大切なことは目に見えないんだよ」

ゆっくりと、諭すように話す上司の言葉に、Nさんは目が覚めるような思いがしました。手間がかり、目立たない下地処理が、実は重要な仕事だったのです。ベテランの職人なら誰でも知っている塗装の基本が、新人のNさんには新鮮でした。

「もう一度頑張ろう」と思ったNさんは、その後、積極的に働くようになりました。下地処理だけではなく、面倒な事務処理も、自分なりに工夫して、良い方法を見つけて取り組むようになりました。いつしか転職を考えたことも忘れ、数年後には、現場を任せられるまでに成長したのです。

*

同じ会社で、同じ仕事をしていながら、Nさんの働きに、なぜこれほど違いが生じたのでしょうか。

ポイントは、心の状態です。

ミスをするまでのNさんは、入社当初の気持ちを忘れ、「この仕事は向いていない」〈どうせやめるんだから〉と消極的な心で仕事をしていました。

その後、先輩の助言のお陰で仕事にやりがいを見い出せるようになり、仕事の成果もぐんぐん上がりました。

消極的か、積極的か……。この心の状態は、人生の岐路での選択にも大きな影響を及ぼします。

転職をやめて会社に残る場合も、〈他に行くところもないし……〉と仕方なく残ると、「この仕事を頑張ろう」と積極的に残るのでは、仕事の成果も、人生の行方さえも大きく変わるでしょう。

受験や就職、転職、独立、結婚など、人は誰でも分岐点に出合います。人生を左右する岐路では悩みも深まるものですが、何かを選ぶならば、前向きに決意したいものです。積極的な心で選択した時にこそ、苦しくても、喜びに満ちた人生が待っているからです。